



TERRAとも
NPO 法人 地球市民友の会

第 19 号

2016 (平成 28) 年 1 月
NPO 法人地球市民友の会
藤沢市高倉 258 東勝寺内
☎0466-44-7570

FAX : 0466-44-0452 E メール : npo.terratomo@gmail.com HP : http://www.terratomo.com

明けましておめでとうございます

初日の出、その瞬間天地は輝き喜びにあふれました。今年はきっと
良き年であるに違いありません。皆様の平安をお祈り申し上げます。

現在、日本で働く外国人は78万7千人（NHKクローズアップ現代28年1月6日放映）
だと言う。今でも日本は「黄金の国ジバング」で有るのだろうか。空港には不思議なワ
クワクした期待感が有る。あの空の向こうには沢山の夢が有ると憧れてしまう。彼らの夢
がかない、お互いに良き隣人になれば幸いである。そうなるよう彼らを応援して、こち
らも彼らの文化を教えてもらい、お互いの幸せへとつなげていくのがこの会であります。

皆様には本年も宜しく倍旧のご支援をお願い申し上げます。



平成28年 正月

NPO 法人 地球市民友の会
理事長 黒澤宗剛



「今年の苦労は忘れ！」「新しい気持ちで新年を迎えよう！」

～国籍を超えて広がるご縁の輪、ご縁に感謝！～

2015年12月27日（日）、‘年末国際交流会’が東勝寺において盛大に開催された。地域に暮らす外国籍の人々（ペルー、アルゼンチン、ブラジルなど南米につながる人々、ベトナム、中国、インドなどアジアにつながる人々など）、地球市民友の会の会員やその関係者、寺の関係者など100余名が参加、1年間の互いの苦労を労い、新年を笑顔で迎えるためにお互いに声を掛け合う、そんなご縁の輪があちこちに生まれつながっていく交流会であった。



参加者はそれぞれ自国の料理を持って集まった。壁際に置かれたテーブルには、国際色豊かな料理が所狭しと並べられた。

交流会は、地球市民友の会の黒澤理事長（東勝寺住職）の「今年の苦労は忘れ新しい気持ちで新年を迎えるため、この会を楽しいものにしましょう」との挨拶で始まった。続いて日



本語教室で学んでいる生徒の挨拶があった。ペルー出身のパブロさん、中国出身の岳さん、ベトナム出身のアイン&ギーアさん、インド出身のセンダミさんの5人がそれぞれの母国語と日本語で上手なスピーチがあり、参会者から大きな拍手がわいた。そしてNPO 地球市民友の会顧問の高橋さんの数カ国語による乾杯の音頭で交流会が始まった。しばらくして、特設ステージでは会を盛り上げようと出演してくれた皆さんが素晴らしいパフォーマンスを見せてくれた。小中生による踊り（ボリビアの踊り）、バスンダリ（バリ舞踊）、イズミオリエントアルダンス（ベリーダンス）、ちゅらそん（ラテン日系楽団の歌と演奏）。出演の皆さんは毎年のようにボランティアでやっていただいています（ベリーダンスは初出演）。本当に有り難いことです。

今年1年間、日本の国内外では様々なニュースがあった。しかし、年の瀬を迎えたここ東勝寺の夜は別世界。美味しい料理や飲み物をいただき、素晴らしい演奏や歌に心弾ませながら話を交わし、いくつもの交流の輪ができた。

フィナーレが近づくと会話の輪が踊りの輪に変わり、別れを惜しむかのように会場は熱気に包まれた。国籍を超え、老若男女が東勝寺で逢えたご縁に感謝しながら「新年もがんばろう」と声を掛け合い交流会はお開きとなった。

この充実した交流会の運営にたいしてご支援ご協力くださいました皆様、また文教大学HOPの学生さんや企画、準備、運営等での縁の下の力持ち的役割を担ってくださいました皆様には心から感謝申しあげます。ありがとうございました。

第12回ふじさわ国際交流フェスティバルに参加



11月8日（日）藤沢駅サンパール広場において、国際交流に関わっている団体が一同に会し、第12回ふじさわ国際交流フェスティバルが盛大に開催された。今年は小雨が降り続くあいにくの天気だったが、ステージでは、フラダンス、子ども達の歌、南米の音楽、留学生による世界各国のクイズなどが行われた。特設のテントでは、世界各国（アメリカ、カナダ、中国、韓国、ドイツ、南米など）の料理や民芸品、国際交流サロン、日本語教室案内など変化に富んだ出展がありにぎわった。

地球市民友の会は「ペルーの食品紹介と販売。NPO 法人地球市民友の会の紹介と日本語友の会やMINTOMO教室のPR」を行った。今年も地球市民友の会のテントの前にはチョリソーやバーベキューチキンの美味しい匂いが漂い、それを求める人の列ができた。

参加団体の紹介コーナーでは、黒澤理事長から地球市民友の会の説明とPRがなされた。

雨天の中運営に関わった皆さん、参加された皆さん本当にご苦労さまでした！

秋の箱根を満喫!

昨年度の第1回日本語友の会野外教室は、昇仙峡方面で溪谷美やブドウ狩り等を楽しむバスツアーだったが、昨年11月28日(土)の第2回野外教室は、箱根フリーパスを利用した「箱根ぐるり旅」だった。日本語友の会の先生、生徒とその関係者18名は、小田急の周遊券箱根フリーパスを持って、朝7:26湘南台をスタート。町田でロマンスカーに乗り換え、一路箱根湯本へ。天気快晴、車窓からは大山はじめ丹沢の美しい山並みが目に鮮やかだった。そして時々現れる富士山の姿には思わず歓声があがった。湯本からバスに乗り、見晴らし茶屋で下車。名前の通り見晴らし抜群、相模湾、江ノ島はもとより、ランドマークタワーまで肉眼で見たのには驚いた。



そこからは、箱根旧街道(含む石畳)を歩き始めた。まもなく甘酒茶屋に到着、昔をしのびながら飲む一杯の甘酒に参加者も笑顔に。休憩後、元箱根港目指して歩け歩きの小一時間。さすが若者は速い、シニアには少々きつかったかな?

次は、いよいよ参加者お楽しみの海賊船に乗船。快晴の下青い芦ノ湖と空、周りの秋の景色、そして更に感動を呼ぶ雪化粧をした富士山!まさにこの旅のクライマックスとなった数十分間の海賊船での遊覧だった。

桃源台で昼食、桃源台と姥子の間はロープウェイ、早雲山までは立ち入り禁止のため代行バス、早雲山からケーブルカー、強羅から登山電車と乗り継いで箱根湯本に無事到着。電車の時間まで、買い物や足湯を楽しんだ。そして、ロマンスカーと快速を乗り継ぎ17:58湘南台帰着。今日一日好天に恵まれ、充実した箱根ぐるり旅を楽しむことができた野外教室であった。

TERRAともふれあいコンサート

2015年度のふれあいコンサートは、国際新堀芸術学院のギターアンサンブル‘TWINKLE’の演奏を楽しむ演奏会となった。2004年に結成されたTWINKLEは、11周年を迎えた今もメンバー交代することなく演奏活動を続けている。それだけに絶妙なバランス感と緻密なアンサンブル力を誇っている。この日のコンサートも人気の“キラキラサウンド”で、親しみやすいクラシックや懐かしの名曲からポップスまで多彩なプログラムを15曲も披露し、聴衆を魅了した。



- ・波乗りジョニー ・オーシャンゼリゼ ・ハンガリー舞曲 ・花
- ・花は咲く ・古賀メドレー ・コンドルは飛んで行く ・ひこうき雲
- ・Let it go 他

第6回MINTOMO交流会に参加

12月5日(土)、「いろいろな国のお友だちと楽しいイベントをつうじて、交流しましょう」をテーマに、交流会が湘南台公民館で開催された。この会はMINTOMO交流会実行委員会主催、藤沢市平和国際課、湘南台公民館、文化センターこども館共催で実施されてきたもの。実行委員会会長は地球市民友の会理事でもある望月千春さん。市民センター地下1階の各部屋では、もちつきと試食、星空ランプシェード作りとクリスマスカード作り、剣玉とコマの日本の昔遊びが行われた。ホールでは、子ども達によるスペイン語の歌、ボリビア出身の女性による南米の踊りなど世界の踊りや歌が披露された。市内の小学校に通う外国人市民の子どもたちと日本人児童や地域住民が集い、様々な催しを通して交流の輪が広がった。NPO地球市民友の会は「もちつき」を担当した。



ことばカルチャ

「年越しそば」食べましたか？

年の瀬になるとおせち料理やお餅と並んで「年越しそば」が話題になります。大晦日にはおそばを食べないと年を越した気分になりませんね。その由来と意味を調べてみましょう。

大晦日にそばを食べる習慣は江戸時代の中期からはじまったそうです。細くて長いそばの形状から、家運、身代、寿命などが長く延びるように縁起をかついで食べられるようになりました。それがあつと言う間に全国に広まったと言われています。

□どんな縁起をかつぐ？

- ・他の麺より切れやすい事から**1年の災厄を断ち切る**という願いから
 - ・そば切りは細く長く延びるので、**延命長寿や身代が延びる**ようにという願いから
 - ・風雨に当たっても陽がさせば**すぐ起きあがるソバ**のように来年こそはと期待を込めて
 - ・そばだんごで金粉を集めたという事から**金が貯まります**ようにと願いを込めて
- 等々、様々な願いや期待を込めて、年を越す前にソバを食べる習慣が根付いているようです

さて、そばを食べないで年を越してしまった時に、あなたはどうしますか？

よく知られた都々逸に「**信州信濃の新そばよりも あたしやあなたのそばがよい**」というのがあります。そばを食べるもよし、誰かのそばにいて語り合うも良しかな？！